

◇ 模擬講義のテーマ ◇

「インターネット上の法律違反の刑事規制」

◇ 《設問1》（模擬講義の要点整理）の解答例 ◇

インターネットの悪用場면을規制する方法の1つに、法律による規制がある。法律上の責任にも民事責任と刑事責任で違いがあり、刑事責任は犯罪に対し刑罰が科される。インターネット上の違法行為に対する刑事規制にも、刑罰規定の新設や刑罰の引き上げで対応する場合がある。もっとも刑罰は重い制裁であり、それ以外の規制で対応する視点も大事である。以上の刑事立法は、刑罰を用いるべきと判断された立法といえるだろう。（196字）

※キーワード

法律による規制、民事責任、刑事責任、刑罰規定の新設、刑罰の引き上げ（または「法定刑の引き上げ」でもよい）

◇ 《設問2》の論題と評価の視点 ◇

〔論題〕

講義中〔3〕で紹介した4つの刑事規制のうち1つを選び、何が重要だと感じたか、また、あなた自身はいかにインターネットを利用すべきと考えるか、それぞれその理由付けと共に600字以内で意見を述べなさい。

〔評価の視点〕

- ・ 刑事規制の具体例を挙げた上での意見（重要性に関する意見）、または、受験者自身がいかによりインターネットを利用すべきと考えるか、のどちらか一方にしか言及していない場合には得点率40%を基準とします。
- ・ 刑事規制の具体例を挙げた上での意見（重要性に関する意見）、および、受験者自身がいかによりインターネットを利用すべきと考えるか、の両方に言及しており、何らかの例証を示しつつ論理展開できている場合に、得点率60%を基準とします。
- ・ 刑事規制の重要性に関する意見に関しては、肯定的評価・否定的評価のどちらの意見についても、その理由（と思われるもの）を示すことを受験者に期待しています。理由の説得性・論理性に応じてプラス評価をします。これに対し、理由が何も示されていない場合、マイナス評価とします。
- ・ インターネットとの向き合い方に関しては、各人の自由な発想に基づき具体的な方策まで示してもらうことを受験者に期待しています。具体的方策の現実性・実効性に応じて、プラス評価をします。これに対し、端的に「注意して使うべきだ」といったような一般論に終始する場合には、その程度に応じてマイナス評価とします。
- ・ 行頭の文字下げや段落分けが不適切な箇所があったり、誤字・脱字がある場合には、一定の減点をおこないます。